

# せのお病院だより

せのお病院を知ろう！

## 第1回 2階病棟

みなさんにもっと **せのお病院** の **イトコ** をお伝えしていきます。

### 2階病棟

地域包括ケア病床として、在宅を見据えた支援を多職種と協働して行っています



病棟内でも  
リハビリ支援！



患者さんの  
状態をしながら  
支援しています



退院前には  
様々な職種と話し合い  
よりよい在宅支援を  
進めています



### 住み慣れた場所で…

患者さんの療養環境において、安らぎとなるように定期的にイベントを開催しています。毎回、ボランティアの方にお越し頂き、素敵な演奏会等を行っています。

### イベントの開催

全床地域包括ケア病床として、住み慣れた場所でいつまでも生活できるよう、支援していきます。



## 基本理念

- 心** 心の通い合う医療の提供
- 技** 質の高い安全な医療の提供
- 体** 健全で自立した経営と働きやすい職場

## 新任のご挨拶

地方独立行政法人岡山市立総合医療センター  
 岡山市立せのお病院 診療部長 **ほり うち たけ し**  
 (兼任：岡山市立市民病院 呼吸器内科部長、地域医療部長)

この度、平成30年7月より岡山市立せのお病院の診療部長として赴任しました堀内武志です。総合内科専門医と呼吸器専門医として内科全般と呼吸器および病院総合診療を行っています。

当院は岡山市立市民病院とともに岡山市立総合医療センターを構成している病院であり、地域医療に貢献することが大きな使命です。2025年問題を踏まえた地域医療構想の推進と地域包括ケアシステムの構築に参画し、病床の整備と専門外来を含む外来診療の充実等に力を入れていきたいと考えています。

地域を愛し、地域の歴史を愛し、地域住民を愛する公的病院として、皆さんのお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。



## ～ 熱中症について ～



### 日常生活で気をつけること

- 予防のための水分補給は水や麦茶などカフェインを含まないものをおすすめします。アルコールは尿が増え水分を失います。1日1.2Lを目安にこまめに摂取しましょう。
- 十分な睡眠と休息と栄養バランスのよい食事をとりましょう。
- ふだんから暑さに備えた体作りをしましょう。
- ブラインドやすだれ、カーテンで直射日光を遮りましょう。
- 我慢せずクーラーを使いましょう。  
※室温28℃前後、湿度60%以下が目安
- 環境省が公表している暑さ指数 (WBGT) を活用して行動計画を立てましょう。



暑さ指数(℃)	気 温(参考)	運 動	日常生活
25℃未満	28℃未満	熱中症の兆候に注意。 水分、塩分を補給	激しい運動や重労働では発症の危険がある
25～28℃	28～31℃	積極的に休息を取る	運動や激しい作業の際には定期的に休息する
28～31℃	31～35℃	激しい運動や持久走は中止	外出時は炎天下を避け、室内でも室温に注意
31℃以上	35℃以上	運動は原則中止	高齢者で熱中症が発生する危険が大きい。外出はなるべく避ける。

日本気象学会、日本体育協会の指針から

※暑さ指数 (WBGT)

熱中症の危険度を示す指数のこと。気温だけでなく、湿度、建物や地面からの熱などをもとに計算する。環境省の「熱中症予防情報サイト」で全国840地点の実測値や予報を公表している。表の気温は目安です。

## 言語聴覚室ができました。

1階外来診察室とリハビリテーション室との間に言語聴覚室 (ST室) が完成しました。明るく快適な言語聴覚室では、摂食・嚥下障害、認知・言語・コミュニケーション障害のある患者さんに対し評価、訓練等を実施しています。当院では平成30年4月から言語聴覚士 (ST) が1名常勤配置となり、入院中の患者さんを担当しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



# 看護週間

看護の心を育むきっかけとなるようにと5月12日が「看護の日」として制定されました。当院では、5月9日から5月14日まで「せのお病院 看護週間」と題して、看護師による健康相談、1日看護部長による入院患者慰問、妹尾幼稚園の園児の皆さんによる「ナイチンゲールデーお楽しみ会」などを実施しました。健康相談では、血糖・血圧・体脂肪・血管年齢測定を行い、多くの方にご参加いただきました。看護のイベントを通じて地域の方々と交流を深めることができました。



## 第3回落語の会

5月9日に「せのお病院 看護週間」の一環として落語の寄席を開催しました。第3回となる雷門<sup>かみなりもん</sup>喜助師匠の公演です。身の回りの出来事をからめた小噺に始まり、自然と本筋へつながるプロの落語が生で聞け、落語の面白さが伝わる公演となりました。



## せのお病院音楽祭を開催しました

### 「尺八のしらべ」

第1回は6月14日、堀川光男さんによる尺八の演奏。洋楽から日本のポップス・演歌まで、幅広いジャンルの曲が尺八のソロとパソコンの伴奏で演奏されました。「アメイジング・グレイス」、井上陽水の「夢の中へ」、五木ひろしの「契り」、復興支援ソング「花は咲く」など現代の曲を通して尺八の魅力にふれることができました。



### 「箏曲演奏会」

第2回は6月27日、今回で3回目の出演となる箏曲アカデミー岡山の皆さんによる演奏。琴4名と尺八1名による合奏でした。「日本のわらべ歌」では「お江戸日本橋」「とおりゃんせ」、「ことうたの民謡」では「こきりこ節」「木曾節」「黒田節」、「夏のうた」では「茶摘み」「夏の思い出」など小中学校の音楽で習った曲のメドレーが中心のプログラムでした。会場となった2階デイルームには、両日とも多くの参加者が集まり、心のなごむひとときを過ごすことができました。



## 市民公開講座日程

● 場所：妹尾公民館 2階 講座室 ● 時間：15：30～16：30

せのお病院では妹尾公民館の共催により、市民の皆さんの健康を増進することを目指して当院医師をはじめ多職種のスタッフが医療の知識についてお役立ていただこうと市民健康講座を開催しています。どうぞお気軽にご参加ください。

	開催日	講師	テーマ
第51回市民健康講座	平成30年9月7日（金）	せのお病院 入退院支援室長 富田 美智雄	クスリについて － 効果を最大に、リスクを最小に －
第52回市民健康講座	平成30年10月5日（金）	せのお病院 理学療法士 谷中 則之	ロコモティブシンドローム （運動器症候群）について
第53回市民健康講座	平成30年11月2日（金）	せのお病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 荻野 香央里	体験学習 おむつについて
第54回市民健康講座	平成30年12月7日（金）	せのお病院 診療部長 堀内 武志	病気を治すための心がけ

※内容等が変更となる場合がありますので、お申し込み時にご確認ください。  
お申込・お問合せ先：岡山市立妹尾公民館 TEL：086-282-4747

# 外来診療科一覽

平成30年9月

## 外来診療科からの お知らせ

### 〔内科〕

- 7月から毎週月曜日午前  
に堀内医師の診療が始まりました。
- 9月から毎週火曜日午前  
に堀内医師の診療が加わります。

### 〔各種健診・検診について〕

- 特定健康診査および各種がん検診が始まっています。当院の年内の受診期間は12月28日（金）までとなっています。期間の終わり頃は込み合う可能性がありますので、早めのご予約をお勧めします。



		月	火	水	木	金	
内 科	午前	1診	堀内 〔内科・呼吸器〕	森末 〔内科一般〕	洲脇 〔呼吸器〕	森末 〔内科一般〕	森末 〔内科一般〕
		2診	安藤 〔糖尿病〕	岡野 〔内科・消化器〕	岡野 〔内科・消化器〕	岡野 〔内科・消化器〕	市民病院医師 〔循環器〕
		3診		堀内 〔内科・呼吸器〕	梶谷 〔糖尿病〕		本多 〔糖尿病〕 第2・4週
	午後	1診	岡野 〔内科・消化器〕	森末 〔内科一般〕	担当医	岡野 〔内科・消化器〕	森末 〔内科一般〕
		2診	片山 〔内科・リウマチ〕	片山 〔内科・リウマチ〕			
	外 科	午前					
午後							
整形外科	午前	松村 第1・3週	檜崎 〔予約のみ〕			木浪 〔予約のみ〕	
脳神経外科	午後				市民病院医師		
眼 科	午後	坂口			岡大医師		
耳鼻咽喉科	午後				岡大医師		
皮膚科	午後					梶田 第1・3週	
泌尿器科	午後					津川 第2・4週	
検 査		岡野		森末		岡野	

\*内科は専門以外の一般内科も診察いたします。

	診 察 開 始 時 間	受 付 時 間
午 前	午前9時～	午前8時30分～11時30分 (整形外科 火曜、金曜10時まで)
午 後	内科(月・火・木・金)	午後1時～3時30分
	内科(水)・脳神経外科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科	

- 整形外科を受診する際は紹介状が必要です。
- 都合により、午後の診察開始時間が午後2時以降となる場合があります。
- 平成30年9月時点の診療科一覽です。

## 退院前訪問家屋調査について

自宅退院に際し環境面の整備は重要課題です。入院時から退院後の環境面も含めた生活状況をリハビリの視点で的確に評価して利用できる公的社会資源などを活用し、身体機能に応じた環境の中で、安全かつ安楽に在宅療養が行えるよう支援する必要があります。そのために当院から車で30分程度の地域の方を対象に『退院前訪問家屋調査』として入院中の患者さんとともに自宅までの外出を行います。実際の“生活の場”で家屋環境や動作の確認を行い、問題点の把握や必要と思われる手すりや介護用具を検討し、できるだけ退院時に間に合うようケアマネージャーさんや福祉用具業者さんに調整を依頼しています。



長い入院生活を経て自宅へ退院する患者さんにとって日常生活動作や家事動作等、不安は計りしれないと思います。そんな患者さんやご家族の不安や心配を少しでも取り除き、在宅復帰に向けて前向きに取り組めるようにサポートしていきたいと考えています。

希望される方は気兼ねなくリハビリテーション科職員へお声かけください。

